

平成29年9月4日

幹事長談話

東京都議会自由民主党

幹事長 秋田 一郎

昨日、北朝鮮は、核兵器廃絶に向けた国際世論を無視し、6度目となる核実験を強行した。

北朝鮮による核実験については、我が国の安全に対する重大な脅威であるとともに、北東アジア及び国際社会の平和と安全を脅かす暴挙であり、断じて容認できない。

都においては、今回の核実験の影響について放射線測定と正確な情報の提供に万全を期し、都民の不安解消に努めることを求める。

政府に対しては、国民の安全・安心の確保に万全を期するとともに、我が国独自の措置及び国連安保理決議に基づく措置を着実に実施し、国際社会の理解と協力の下、核実験、ミサイル発射及び拉致問題の解決に向けて、先導的な役割を担っていくよう強く要請する。

我が党は、今後とも政権与党と綿密な連携の下、「都民の生命を守り、安全を確保する」ことに全力を傾注していく。